

## 基本計画部会第3ワーキンググループ報告書の概要

### 趣旨及び第3ワーキンググループの検討課題等

WG3に課せられた検討課題（体系的整備の在り方等（人口・社会統計））について、検討の背景・目的及び検討に当たっての考え方・検討の進め方等を記述

### 基幹統計の候補等について

#### 1 基幹統計の候補選定における基本的な考え方

基幹統計の候補選定の考え方等について記述

#### 2 人口・社会統計における基幹統計の候補等

基幹統計の候補

- ・基幹統計の候補として、従来の指定統計から17統計を選定したほか、「現在推計人口」、「生命表」及び「社会保障給付費」を候補として選定

WGの検討において特段の指摘のあった統計

- ・基幹統計になじまないと整理された統計（「日本の将来推計人口」及びいわゆるパネル調査）及び従来の指定統計等のうち、一定の整理を要するとの指摘を受けた統計等（「民間給与実態統計、地方公務員給与実態調査及び国家公務員給与等実態調査」及び「船員労働統計」）について記述

### 各分野における統計整備の重点的課題

各分野における統計整備の重点的課題に関し、基本的な考え方等を記述した上で、検討が必要な事項等について具体的に記述

#### 1 「人口・人口動態」分野における統計整備の重点的課題

少子・高齢化の進展等に対応した統計整備

- ・行政記録（住民基本台帳データ）の活用による人口移動統計の充実
- ・「住民基本台帳に基づく人口・人口動態・世帯数」の把握時期の見直し、集計の充実

・「人口動態統計」における集計の充実

「国勢調査」の改善（27年以降の調査における更なる改善・見直しなど）

日本在住の外国人に関する統計整備

- ・「人口動態統計」における外国人に関する集計の充実（特に年齢別）
- ・「登録外国人統計（在留外国人統計）」及び「出入国管理統計」における集計の充実

#### 2 「家族・暮らし・居住・余暇・レジャー」分野における統計整備の重点的課題

少子化、ワークライフバランス等関連の統計整備

- ・配偶関係、結婚時期、子供数等の少子化に直結するデータの大規模標本による把握
- ・女性の就業（就職・離職の状況、就業抑制要因など）と結婚、出産、子育て、介護等の関係をより詳しく分析する観点からの統計の整備

地域コミュニティ活動等に関する統計整備

- ・「社会生活基本調査」におけるNPO、ボランティア、地域コミュニティ活動等に関する調査事項・集計内容の見直し

家計・個人消費に関する統計の改善

- ・「家計の個計化」の状況のよりの確な把握
- ・モニター方式の調査採用の検討

住宅・土地に関する統計体系の整備（「住宅・土地統計調査」と「国勢調査」の関係や在り方、「住宅・土地統計調査」への「住生活総合調査」の統合の是非、ハードウェア面だけでなく、価格、購入者、経済状況等の経済・家族面の把握等の観点からの検討）

### **3 「労働・雇用」分野における統計整備の重点的課題**

働き方の多様化に対応した統計整備

- ・有期雇用契約期間のより詳細な把握など

労働時間の捉え方に係る改善・工夫

- ・実労働時間のより適切な把握（世帯サイドの雇用・労働統計の改善）
- ・労働時間を捉えた統計の有効活用（「社会生活基本調査」への分析事項の追加）

雇用変動（雇用創出・雇用消失）の捉え方に関する統計の整備

- ・「雇用動向調査」における推計手法等の検討

### **4 「福祉・社会保障」分野における統計整備の重点的課題**

福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備

- ・「社会保障給付費」と各種国際基準に基づく統計との整合性の向上
- ・「国民生活基礎調査」の改善

- ・所得票・貯蓄票を用いた都道府県別表章を可能とする改善（標本規模の拡大など）
- ・5種類の調査票（世帯票、健康票、介護票、所得票及び貯蓄票）に関する、相互のクロス分析等の充実

### **5 「医療・健康・介護」分野における統計整備の重点的課題**

行政記録等の活用による統計調査の効率化及び記入者負担の軽減

- ・「医療施設調査」及び「患者調査」における行政記録等の活用の検討

医療費に関する統計の国際比較性の向上

### **6 「教育」分野における統計整備の重点的課題**

学校教育関連統計の整備

- ・暴力行為、不登校、いじめ等に係る統計調査の改善（より客観的な基準の設定等）
- ・「学校基本調査」又は「学校教員統計調査」における改善（非常勤教員に係る項目の追加など）
- ・「学校保健統計調査」における改善（心の健康、生活習慣病等に関する項目追加など）

社会教育関連統計の整備

- ・社会教育施設等の利用者サイドの情報（利用率、参加率等）の把握等

教育機能の総合的な把握

- ・社会生活や雇用・労働等と教育の関係の分析のための統計整備（関連調査への学歴等の教育関連項目の追加）
- ・学校教育の段階から就職活動に至るまでのライフコース全般を捉える統計の整備
- ・学校外学習に係る実態把握（「子どもの学習費調査」への項目の追加）

### **7 「安心・安全」分野における統計整備の重点的課題**

「犯罪被害実態（暗数）調査」の精度向上（サンプル数の拡充など）